

人権課題 自尊感情の育成

思いやりのある気持ちで人と接し、  
自分も相手も異なる考えや感情を  
もった存在であるとともに、互いに  
かけがえのない存在であることを実感できる取組



【年少】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 歌や手遊び、リズム遊びが好きな幼児が多く、喜んで真似たり体を動かしたりする姿や、教師や周りの幼児とやり取りを楽しむ姿が見られる。一方で、落ち着いて話を聞けなかったり、思うようにならないことがあると大きな声を上げたりする幼児がいる。
- 一日の生活の流れが分かり、片付け等が自分でできる幼児が増えてきているが、教師が個別に声を掛けたり、援助が必要であったりする幼児もいる。
- 自分のしたい遊びを見つけ、繰り返し試したり、なりきったりして楽しむ姿が見られる。友達を誘ったり、一緒に楽しんだり、友達との関わりも見られるようになってきている。一方で、したい遊びを見つけにくく、遊びを転々とする幼児がいる。

教師の願い

- 幼児の好きな歌や手遊び、リズム遊びを生活のいろいろな場面に取り入れ、楽しみながら活動に参加できるようにしていきたい。また、落ち着いて話が聞けるように、上手にできている幼児を紹介して手本にすることで、全体の意識を高めていきたい。大きな声を上げる幼児には視線を合わせて、言葉にならない思いに寄り添いながら、気持ちを少しずつ言葉に表すことができるように声を掛ける。
- 片付けを頑張っている幼児の姿を言葉で伝え、自己肯定感を高めたい。また、援助が必要な幼児には、励ましの言葉や手を添えたり、興味のある活動を取り入れたりと、楽しむことができるようにする。
- 一人一人がしっかりと遊びを楽しんで満足感を味わうことができるように、幼児の思いや姿に共感し、認めていくようにする。そして、周りにいる幼児にも知らせながら、幼児同士がつながるきっかけを作っていく。

(2) ねらいと内容

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達や教師と一緒に遊ぶ。
  - ・友達や教師としたい遊びを見つけて十分に楽しみ、満足感を味わう。
- クラスのみなどと一緒に、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。
  - ・音楽や教師の言葉に合わせて、動いたり表現したりすることを楽しむ。

(3) 評価の視点

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達や教師と遊びを楽しむことができていたか。
- 音楽や教師の言葉に合わせて動くことを楽しんでいったか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 幼児が楽しんだり頑張ったりしている姿をしっかりと言葉で認めていくことで、満足感をもち、自己肯定感を高めていくことができるようにする。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・) 人権の視点での援助(◎)
○登園する。	・一人一人とあいさつや言葉を交わしながら温かく迎える。
○持ち物の整頓をする。	・朝の預かり保育の延長で遊んでしまいがちな幼児には、持ち物の整頓ができてから遊ぶことを伝え、手を添えて援助する。
○あいさつをする。	・いつも親しんでいる手遊びの音楽をかけることで、楽しみながら集まることができるようにする。
○それぞれの遊びをする。 (園庭) ・泡や色水を作って遊ぶ。 ・ままごとをする。 ・砂場や自然物で遊ぶ。 ・リズム遊びをする。 ・総合遊具で遊ぶ。 ・乗り物で遊ぶ。 (室内) ・ネコごっこをする。 ・作って遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泡や色水作りを楽しんでいる幼児の姿を認め、泡や色の変化と一緒に驚いたり喜んだりしながら、作る楽しさに共感する。</li> <li>・友達と乗り物に乗ったり、レッカー車等に見立ててイメージを共有したりしている姿に共感し、一緒に遊ぶ楽しさを感じるように声を掛ける。</li> <li>・ネコごっこをしている幼児とやり取りをしながら楽しさを共有し、イメージを広げることができるようにする。</li> <li>・遊びを見つけにくい幼児には、興味のある遊びを探りながら、楽しむことができるように気持ちを盛り上げていく。</li> </ul>
○片付けをする。	◎片付けを頑張っている幼児の姿を認め、言葉にして伝えることで自信や自己肯定感につなげる。
○牛乳を飲む。	・牛乳が苦手な幼児が少しでも飲むことができるように励まし、飲むことができたときには共に喜ぶ。
○持ち物の整頓をする。 ・リズムを踊る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりをもって全員ができるようにし、全員が揃うまで楽しんで待つことができるように、リズムをかけておく。</li> <li>★幼児が動きやすいように、場を広くする。</li> </ul>
○忍者の修行をする。 ・リズムを踊る。 「ゆびにんぼう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「忍法〇〇の術」の合図に合わせて、岩になったり、片足立ちをしたりして、上手にできている幼児を認めながらみんなで楽しむことができるようにする。</li> <li>・活動に参加しにくい幼児には、声を掛けたり側で一緒に動いたりしながら誘う。</li> </ul>
○絵本を見る。 「ながいでしょりっぱでしょ」	・絵本を見る前には、「はじまるよ」の手遊びをして、楽しみながら絵本を見る姿勢ができるようにする。
○振り返りをする。	◎幼児の楽しかった遊びを聞いて、しっかりと共感しながら周りの幼児にも伝えていく。また、教師が気付いた楽しい遊びや幼児の頑張りも知らせることで、幼児のよい姿を全員で認めることができるようにする。

【年中】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 運動会を経験し、保護者や教師に頑張りを認められることで、いろいろな活動に自信をもって取り組むようになってきている。遊びの中では、自分の気持ちや考えを提案している。また、友達の様子を心配したり、友達との関わりを求めたりする姿が見られる。
- 生き物が好きで、ザリガニの幼体や、アゲハチョウの幼虫を育てることに興味をもっている。ほとんどの幼児が毎日、飼育ケースを覗きながら知っていることや気付いたことを伝え合っている。また、ザリガニが死んでしまうと主体的に埋めに行く姿が見られる。
- 振り返りでは、自分の思いを伝えたい気持ちが強い幼児が多い。頑張ったことや挑戦してできたことの話聞いた友達が「すごいね」「みてみたい」と興味をもつと、とても嬉しそうにしている。一方、自分の話を聞いてもらうことで満足して、友達の話には、興味をもたない幼児もいる。自分のいなかった遊びの場で、友達の遊びの様子を知り、刺激を受けて、自分も明日はやってみようと思意欲を高めている幼児もいる。

教師の願い

- 遊んでいる中で、自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ちや考えを聞けたりするようになってほしい。教師が質問したり友達の様子を伝えたりして、相手の気持ちを考えることができるようにしたい。また、友達との関わりを深めていく中で、より友達のことを好きになり、一緒に楽しく遊ぶことができるようになってほしい。
- 生き物の成長や変化の面白さに共感しながら、教師も一緒に成長を喜んだり、死を悲しんだりすることで、命の大切さを感じられるようにしていきたい。
- 教師が幼児の話に興味をもって聞き、応えていくことで、他の幼児も興味をもてるようにしていきたい。また、幼児の気持ちを受け止め、楽しさに共感したり、頑張りを認めたりすることで、自分が大切にされていると感じられるようにしていきたい。また、教師が捉えた幼児の素敵な姿を、紹介することで、友達の良いところに気付くことができるようにしたい。

(2) ねらいと内容

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
  - ・遊びの中で、自分の考えを友達に知らせたり、友達の話の聞いたりする。
  - ・夢中になって遊び、教師や友達と楽しさを共有する。

(3) 評価の視点

- 自分のしたい遊びを見つけて友達と一緒に遊んでいたか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 一緒に楽しく遊ぶことができるように、友達の気持ちを聞こうとする。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・) 人権の視点での援助(◎)
<p>○登園する。</p> <p>○身の回りの整頓をする。</p> <p>○あいさつをする。</p> <p>○それぞれの遊びをする。</p> <p>(園庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂場で遊ぶ。</li> <li>・鬼遊びをする。</li> <li>・自然物で遊ぶ。</li> </ul> <p>(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然物で遊ぶ。</li> <li>・作って遊ぶ。</li> <li>・遊戯室で遊ぶ。</li> </ul> <p>○片付けをする。</p> <p>○牛乳を飲む。</p> <p>○歌を歌う。 「どんぐりころころ」</p> <p>○絵本を見る。 「ごろりんごろんころろ」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>・身の回りの整頓が進みにくい幼児には、声を掛けたり励ましたりして自分でしようとする意欲をもてるようにする。</p> <p>・好きな遊びを見つけにくく、教師と遊びたい幼児とは、一緒に遊びながら、友達との関わりをもてるように援助し、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</p> <p>・砂場で友達と協力して山を作ったり温泉を作ったりしている幼児には、質問をしたり、手伝ったりしながら、みんなで作り上げることの楽しさに共感し、協力することの楽しさや大切さに気付くことができるようにする。</p> <p>・教師が鬼と一緒に走ったり、鬼になったりすることで、「なかなか捕まえない」という不安な気持ちになることなく、安心して鬼遊びを楽しむことができるようにする。</p> <p>◎遊びの中で、一人一人の良いところを見つけて、「友達に貸せたんだね。優しいね。」等、具体的な言葉でほめることで、自信をもてるようにする。</p> <p>・トラブルになったときは、幼児の気持ちを受け止め、相手の気持ちを考えられるように援助したり、言葉で気持ちを伝えられるようにモデルを示したりして、気持ちを言葉で伝えることの大切さを感じられるようにする。</p> <p>・自分たちで拾ったどんぐりや小枝を、一緒に分類分けをしておくことで、材料に親しみをもち、自然物を使って作ることを楽しめるようにする。</p> <p>・遊びに必要なものを作る中で、教師も一緒に考えたり、材料を探したりして、自分のイメージに近づけることの楽しさを感じられるようにする。</p> <p>★廃材を十分に用意して幼児と一緒に種類ごとに分けておく。</p> <p>・どんぐりの歌を歌うことで、どんぐりに親しみをもてるようにする。</p> <p>・絵本の読み聞かせを通して、温かい気持ちになれるようにする。また、相手を思いやることの大切さを感じられるようにする。</p> <p>・伝えたい気持ちはあるが、友達の前で話す自信のない幼児には、笑顔でうなずきながら聞くことで安心して話すことができるようにする。</p> <p>◎幼児の気持ちを受け止め、楽しさに共感したり、頑張りを認めたりすることで自分が大切にされていることを感じられるようにする。</p> <p>・教師が捉えた幼児の素敵な姿を紹介することで、友達のよいところに気付くことができるようにする。</p> <p>・振り返りで、友達の遊びの話聞くことにより、自分もしてみたいという意欲につながるようにする。</p>

【年長】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 気の合う幼児同士で、泡遊び、砂場、鉄棒などに誘い合って遊んでいるが、それぞれが自分の目標に向かって遊ぶことが多い。時に役割を決めながら作って遊ぶことを楽しむ姿も見られる。クラス活動では、自分たちで役割を考えたり、したいことを見つけて取り組んだりして、遊びを盛り上げていくことができる。
- スケジュールを見ながら、見通しをもち、自分で考えて行動することができるようになってきている。また、片付け「パトロール隊」になることで、気持ちを切り替える幼児が増えてきている。しかし、遊びに夢中になり区切りをつけにくい幼児や個別の声掛けによって次の行動ができる幼児もあり、集まりに時間がかかる。
- 振り返りでは、印象に残る出来事があった時や、話の内容に興味をもつことができるとクラス全体で話を共有することができる。しかし、人数が多く、発言の機会を十分にもてないため、全員の気持ちが一つの方向に向きにくい。



教師の願い

- 鉄棒や縄跳びなど、自分の目標をもって取り組んでいる姿を大切にしたい。そして、その目標を友達と共有し、相談したり工夫したりしながら、一緒に取り組む楽しさを味わってほしい。また、遊びを見守りながら声を掛けたり、友達の様子を伝えたりして他の遊びに気付き、一緒にしたいという気持ちにつなげていきたい。
- 見通しをもって生活できるよう、事前に一日の流れや具体的な活動を知らせ、次の活動への期待につなげていきたい。また、区切りをつけにくい幼児の特性を理解し、「□□をするよ」と具体的に楽しい活動を伝えたり、活動の導入にわらべうたを取り入れたりして、友達と一緒に参加したいという気持ちを育てていきたい。
- 一人一人の「伝えたい」気持ちを受け止め、なるべく多くの幼児に発言の機会を与えるようにしたい。また、教師が共感したり、分かりやすく言葉を添えたりすることで、他の幼児が興味をもち、明日の遊びへつながるように工夫したい。

(2) ねらいと内容

- 気の合う友達と目的をもって、一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
  - ・遊び方や作り方を工夫し、友達とイメージを共有する。
  - ・自分の経験したことを話したり、友達や先生の話の話を聞いたりする。

(3) 評価の視点

- 友達と一緒に工夫したり、イメージを共有したりしながら遊びを進めることができていたか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 友達と一緒に遊びを進めていく中で、思いや考えの違いを知ったり、伝え合ったりしながら、互いのよさに気付けられるように支援する。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・)人権の視点での援助(◎)
<p>○登園する。</p> <p>○身の回りの整頓をする。</p> <p>○あいさつをする。</p> <p>○それぞれの遊びをする。</p> <p>(園庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄遊びをする。</li> <li>・砂場で遊ぶ。</li> <li>・ごちそう作りをする。</li> </ul> <p>(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作って遊ぶ。</li> <li>・木工遊びをする。</li> <li>・自然物で遊ぶ。</li> </ul> <p>○片付けをする。</p> <p>○牛乳を飲む。</p> <p>○わらべうた遊びをする。</p> <p>「どんぐりころちゃん」</p> <p>「あのね おしょうさんがね」</p> <p>「おやゆびやまのぼって」</p> <p>○絵本を見る。</p> <p>「花さき山」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>・朝のあいさつをしながら、昨日の遊びの内容について触れていくことで遊びの継続ができるようにする。</p> <p>・縄遊びや鉄棒など「何に挑戦しているの?」「目標は?」などと聞き、幼児がもっているめあてを自分の言葉で伝えることができるようにする。また、幼児の小さな変化を見つけ、伝えていくことで自信へとつながるようにする。</p> <p>・一緒に遊んでいる友達に自分の考えや思いを伝えながら遊んでいるか、同じ目標をもって遊びを進めているかを探り、必要に応じて一緒に考え、友達と遊びを進める面白さを味わうことができるようにする。</p> <p>★幼児が試したり、工夫したりしながら遊びを進めることができるよう、幼児の実態に合わせて、十分な材料や必要な用具、場を用意しておく。</p> <p>◎片付けパトロール隊として、片付け忘れていたものを見つけたり、ごみを拾ったりしている姿を「ありがとう」「きれいになると気持ちがいいね」と具体的に認めていくことで、感謝される喜びを感じたり、共同の玩具を大切に扱おうとする気持ちを育てたりする。</p> <p>・わらべうた遊びをすることで、幼児が自然に集まり、帰る前の活動にスムーズに入ることができるようにする。また、2人組になることができにくい幼児には、事前にペアを決めておいたり、援助したりしていく。支援の必要な幼児には、最初は教師と行い、友達に関心が向いた時には、一緒に活動ができるよう配慮する。</p> <p>・「今日、一番のニュースはなに?」と聞くことで、友達に一番伝えたいこと、教えたいことが具体的に思い浮かんだり、発表したりできるようにする。また、自分なりに考え、相手に分かりやすく伝えようとしている姿を具体的に認めていくことで、伝えたいような雰囲気を作っていく。</p> <p>◎友達の遊びや思いを聞いて、自分とは違う遊び方や方法を知り、「面白そうだな」「自分も一緒にやってみたいな」等、かかわって遊びたいと感じられるようにする。また、話し合いを通して互いのよさに気づき、一緒に活動することへの期待感につなげていく。</p>